

地域社会とともに

「市民に愛され市民に貢献する」企業理念をもとに
地域社会・国際社会と調和するさまざまな社会貢献活動を推進しています。

社会貢献活動

地域社会
<http://www.citizen.co.jp/social/region/area/index.html>

シチズングループは、2007年4月に制定したシチズングループ企業行動憲章(第5条)を基本方針として社会貢献活動に取り組んでいます。活動は、シチズンホールディングスのCSR室が中心となって推進しています。

社会貢献活動に関する基本方針 (シチズングループ企業行動憲章第5条)

「良き企業市民として、地域社会との共生を大切にし、社会貢献活動に努めます」

- (1) 社会の一員として、社会に役立つ事業活動を行い、社会とともに歩む“良き企業市民”としての役割を果たしていきます。
- (2) 地域社会とのつながりを大切にします。各地域の行事にも積極的に参加し、地域の方々との交流を通して、地域の活性化に協力していきます。
- (3) 社会貢献活動を通して、社会との関係を一段と深めることにより、社内に柔軟かつ創造的な文化が醸成されることを目指します。
- (4) NPO/NGO、ボランティア団体、地域社会等、社会貢献活動を実践するために必要なパートナーとの連携を行います。

発効日 2007年4月6日
シチズングループ経営戦略会議にて制定

「2007年度シチズン・オブ・ザ・イヤー」を選定

市民主役の時代といわれるなか、社名に「CITIZEN(市民)」を掲げるシチズンホールディングスは、広い視野から市民を顕彰する賞として、創立60周年を記念し、1990年に「シチズン・オブ・ザ・イヤー(略称「シチズン賞」)」を創設しました。同賞は、日本人および在日外国人のなかから、市民に感動を与えた人、市民社会の発展や幸せ・魅力づくりに貢献した市民を毎年選り、表彰する制度です。

18回目となる2007年度は、以下の方々が受賞しました。

●西谷 勲さん(福岡県中間市)

東京都荒川区立第九中学校の夜間学級宛てに、寄付金と激励の手紙を50年以上も毎月欠かさず送り続けています。



●志賀中学校の卒業生有志の皆さん(福岡県福岡市)

志賀中学校の卒業生有志は、高校からの下校時は毎日、また利用のたびに、自分たちが利用する電車内のごみ拾いなどの美化に努めてきました。



●谷垣 雄三さん(ニジェール共和国 テッサワ市)

慢性的な外科医不足に悩む西アフリカ・ニジェールで25年以上にわたって医療活動に携わるとともに、私財を投じて病院を建設するなど医療環境の整備にも力を注いでいます。



「2007年度シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式

「いわて銀河100kmチャレンジマラソン」に協賛

シチズン東北では、岩手県で毎年行われている「いわて銀河100kmチャレンジマラソン」に協賛しています。2007年度は「シチズン」の社名の名づけ親である後藤新平伯の生誕150年記念事業の一環として開催されました。従業員はゴール地点などでボランティアスタッフとして運営にも参加しました。



スタート風景

職場体験学習、インターンシップを実施

シチズングループ各社は、中学生の職場体験学習やインターンシップを積極的に受け入れています。受け入れにあたっては、勤労観や職業観をテーマとし、働く意義や職業に対する知識、意識を高めるよう配慮しています。

シチズンホールディングスおよびシチズン時計では、2007年度に近隣の中学生を受け入れ、時計学校の体験入学や時計の物流職場体験を実施しました。また、2006年から継続して2日間の夏休み親子体験学習を実施しており、2007年度は100名以上の小学生親子が参加し、時計資料室の見学と「日時計」づくりを行いました。



職場体験学習

「100万本植樹運動」に参加

シチズン電子は、山梨県と財団法人山梨県緑化推進機構が主催する「100万本植樹運動」に参加しています。2007年度は、忍野村の山林で行われた植樹活動に、新入社員を含む従業員23名が参加し、ヒノキを植樹しました。



100万本植樹運動

卓球教室を開催

創部以来、40有余年の伝統を誇るシチズンホールディングスの卓球部は、北海道から沖縄まで、全国各地で卓球教室や講習会を行っています。2007年度は、8つの都県で計14回実施し、1990名の方が参加しました。また、選手たちは、地元のラジオ局、FM西東京にも出演するなど、幅広い活動を通じて地域の人々とのコミュニケーションを図っています。



卓球教室

環境保護への想いを伝えるイベントを開催

CITIZEN WATCH (CHINA) CO., LTD.では、「環境保護のために私たち一般市民に何ができるのか?」をテーマに討議し、「なるべく車に乗らないで歩くこと」を社内に働きかけています。また、健康にも役立つこの取り組みを、いわゆる草の根運動として多くの人に広げていけるよう、2007年7月に、北京市内を従業員有志が歩くイベントを開催。歩きながらシチズングループの企業理念や商品づくりのポリシー、環境保護への想いを記載したパンフレットを配布し、活動に対する共感の輪を広げていきました。



北京市内を歩くイベント

モスクワ弁論大会に協賛

シチズン時計モスクワ駐在事務所では、2005年から毎年、日本語を学ぶロシア人学生を対象にモスクワで開催される「CIS学生日本語弁論大会」(主催:日本大使館、CIS日本語教師会)の参加者や優秀者への賞品を協賛しています。



モスクワでの弁論大会